

## 令和3年11月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員60人に、本会が新たに選んだ20人を加えた80人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

新型コロナウイルスの感染が落ち着き、人の動きが活発になってきたことから、落ち込みが激しかった卸・小売業やサービス業等の非製造業を中心に景況感の改善が続き、11月期の景況DI値は3か月連続して上昇した。

一方、製造業及び建設業等においては、原材料・資材価格の高騰や外国人労働者等の人手不足により、また、運輸業等においては原油価格高騰により、いずれも収益に影響が出ており、先行きへの不透明感がある。

多くの業種において、オミクロン株による第六波の懸念を抱きながらも、新型コロナウイルス感染症がこのまま収束し、本格的な景気回復に向かうことを願う声が寄せられている。

### 山口県の主要指標DI値（令和3年11月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況  $(\text{好転} - \text{悪化}) = \text{DI値}$

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：40.0% DI値：▲32.5% ポイント

売上高  $(\text{増加} - \text{減少}) = \text{DI値}$

前年同月比は、増加：21.3% 減少：28.8% DI値：▲7.5% ポイント

収益状況  $(\text{好転} - \text{悪化}) = \text{DI値}$

前年同月比は、好転：8.8% 悪化：33.8% DI値：▲25.0% ポイント

### 山口県の業種別DI値(業界の景況)（令和3年11月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲50.0	0.0	▲66.7	▲50.0	▲16.7	▲33.3	0.0	▲34.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業	全 体
0.0	▲37.5	▲60.0	▲18.2	▲36.4	▲28.6	▲100.0	▲31.3	▲32.5
								

## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	新型コロナウイルス感染者の減少により人が動き始め、土産菓子が売れるようになったが、コロナ禍以前とは程遠い状況である。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	新型コロナウイルス感染者の減少に伴い、売上は前年並みを確保できたが、今後は、オミクロン株の動向しだいであり、年末にかけて不安材料である。	パン・菓子製造業 下関市
	魚の水揚げ量の減少が続いている。人手不足が益々深刻になっている。	水産食料品製造業 長門市
	コロナ禍の業況は、組合員の業種により変わらない組合員と、季節的に厳しい組合員とに分かれている模様だが、数字的な部分はわからない。今は多くの組合員が忙しい状況だが、新型コロナウイルスの新たな変異株により入国制限がかかり外国人技能実習生の年内入国はできなくなった。いつ落ち着くのか、実習生を受け入れる組合員は困っている。	水産食料品製造業 下関市
	新型コロナウイルス感染者減少の兆しがみられ、11月の売上は前年同月比10%強増加しているが、業況は現在も原料不足・原料高騰が止まらない上、品薄な状況である。先月と比べて売上は復調傾向にあるが、今後は、第6波の影響が小さければ、売上がこのまま少しずつ上昇するであろうと期待している。	
	全国的な令和3年産米の仮渡金価格の下落により、一般業者の取引価格も令和2年産に比べ、15%~20%の下落となり、売上高の大幅な下落となった。新型コロナウイルス蔓延に伴う自粛活動も撤廃されているが、新たな変異株により第6波が懸念され、山口県の日本酒メーカーの売上減少が酒米の買い控えというところに繋がっており、影響は解消されていない。	精穀・製粉業
繊維工業	現在の外国人技能実習生は、中国12名、ベトナム26名、合計38名。新型コロナウイルスによる規制緩和で入国手続を勧める予定だったが、入国禁止を受け再入国の手続も止まっている。中国人実習生1名が一時帰国するが、再入国の可能性は低いと思われる。	下着類製造業
	業況は前年と比べると少し好転しているが、資材が値上がり経費が増加している。価格転嫁は社会的に同意を得て、円滑に進める必要がある。	外衣・シャツ製造業
木材・木製品	組合の売上は若干有る。木材の価格上昇だけでなく、ガソリン代の高騰により他の新建材まで軒並み上昇している。新型コロナウイルスの影響による海外での部品調達の難しさはどうにかならないものだろうか？	製材業・木製品製造業 岩国市

	<p>組合員の平均売上額は、コロナ前の令和元年11月に比べ10%の減少、コロナ禍の令和2年11月と比べ20%の増加だが、増加傾向の事業所と依然減少が続く事業所とが混在している状況。国産材価格は全般的には2割以上値上がり、柱KD材の仕入れについては調達難が続いている。「ウッドショック」による国産材需要もピークより下がりつつあり、在庫リスク抑制のため買い控えの状況である。</p>	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	<p>新政府におけるコロナ対策と経済対策への期待は大きいですが、現在鎮静化している新型コロナウイルスの再拡大の不安も拭えない状況である。社会にとって令和3年は大きな転換期になったといえる。コロナ対策の副産物である在宅勤務が定着し、就業形態が大きく変わり新しいビジネスチャンスが生まれた。各企業が同様の設備を持って同様の受発注を行うという従来の形態から、設備のシェアや情報共有による受発注の調整システムを構築し、強い分野に特化することにより、稼働率の効率化や経営合理化、独自性強化による他社との差別化等に結び付けるというビジネスモデルも試行されている。</p>	印刷 下関市
	<p>令和2年に受注のあった製品がなくなり、また見積合わせ等も他社との安売り合戦で受注が減り、結果的に売上減少になった。</p>	印刷 山口市
窯業・土石製品	<p>原材料（鉄筋・油関係）の値上げにより収益が悪化している。すぐに販売価格に転嫁できないため、1月より値上げの方向で動いている。</p>	コンクリート 製品製造業
	<p>出荷量は、前月比114%、前年同月比90%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。</p>	生コンクリート製造業
	<p>既に、来年の仕事の依頼を多数受けている組合員もある。前の寒波等による設備の破損があれば操業・現場に支障がでるので、何事も無い事を願う。</p>	石工品製造業
	<p>11月の小売りの売上は前年同月比でやや減少。百貨店やギフトなど卸の売上が25%~30%減少。小売りの減少原因は、大都市での陶器フェアや展示会等は感染が拡大していた時期に中止あるいは規模縮小が決定され、出店を断念せざるを得ない状況となり、また、昨年行われていたGotoキャンペーンが実施されていないこと。卸の減少原因は、百貨店の売上不振や、冠婚葬祭に伴うギフト関係の受注の減少と考えられる。</p>	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	<p>新型コロナウイルスの影響で引き続きリモート面接を実施しているが、ベトナムも感染拡大でロックダウンが発生し、募集も困難、面接も延期になっている。来日予定の外国人技能実習生も入国がいつになるかわからないためキャンセルが出ている。特定活動中の実習</p>	一般機械器具製造業 岩国市

	<p>生がワクチン接種を2回終了したので帰国し始めた。外国人技能実習生の入国が無く帰国ばかりで縫製業は困っている。</p>	
	<p>10月の繁忙期が終わり、11月は全体的に何とか仕事を繋いでいる状況の組合員が多い。周南コンビナート内では、大きな建設工事案件も1件～2件程度のなか、小口案件、県外案件で対応している。新型コロナウイルス感染症の影響ではなく、例年の閑散期に入ったと感じている。</p>	<p>一般機械器具製造業 下松市</p>
	<p>コロナ禍の影響による半導体の不足によって、自動車業界全体の稼働が安定するにはまだ時間がかかりそうで、これから先の業況悪化が予想される。また、従業員不足、人材不足により生産能力が低下し、売上が伸びない。プラントメーカーでは、受注量が多く、引き合いもあり、令和4年の夏頃まではこの調子が続くと思われる。建設関連では、材料価格の高騰により見積時と受注時の単価の差で採算が合わない。鉄工業界全般に、電気部品等の品物が入荷せず、納期に時間がかかるものが増えてきている。このような状態が続く、機械の受注に悪影響が出るとと思われる。</p>	<p>一般機械器具製造業 防府市</p>
	<p>新型コロナウイルス蔓延による企業業績への影響が、製造業の一部企業に若干出始めてきた中で、新たに食肉加工業者が売上減により倒産した。外国人技能実習生は、同業他社の特定技能へ移行することで入管手続きを行った。なお、大半の企業では、外国人の入国が出来ず人手不足から残業が増加するとともに、事業の縮小を余儀なくされる等の支障が出てきている。水際対策の緩和により一部の外国人技能実習生の入国の目途が立ち一安心であるが、手続きに時間がかかるため、企業からは特定技能、特定活動の労働者の紹介を依頼されることが増えてきたにも関わらず、高賃金の都市部の企業への転籍が増え、帰国するケースが増えてきている。そのため、各企業とも人員の確保に苦慮している。</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>
	<p>原材料価格の上昇、輸送費の増加により粗利が減少傾向にある。</p>	
輸送機器	<p>鉄道車両関係は、現状は順調に推移しているものの、世界的なコロナ禍の影響で、国内外ともに2～3年先の新車両計画は不透明であり、確かな見通しが立たない状況である。半導体は、例年の2～3倍の受注量で好調、2～3年は順調に推移していくと思われる。</p>	<p>鉄道車両・ 同部品製造業</p>
卸売業	<p>海苔、海産物の出庫数が入庫を大きく上回り、倉庫売上は前年に比しやや減少した。新型コロナウイルス感染者の減少により、流通が好転し、今後は入庫も増加する可能性があると思われる。</p>	<p>乾物卸売業</p>

	市場への客足も増え、回復してきているが、鮮魚類が品薄である。ふくは高騰している。	生鮮・魚介卸売業
	新型コロナウイルス感染者の減少に伴い来客者が増加し、若干売上が増してきた。	各種商品卸売業 山口市
小売業	緊急事態宣言解除後の客足は、各店舗あまり伸びていない。観光などにお金を使うため化粧品等の需要が高まらないのであろうか。全国化粧品組合では、賦課金などを減額する等、都道府県の化粧品組合の財政逼迫に対応している。山口県の組合でも各店舗の売上が伸びるよう、施策などで組合員に集客の支援をしていきたい。国の助成金については組合員に紹介した。	化粧品小売業
	前年同月比 95%位。半導体の不足で一部の商品の入荷が遅れている。	機械器具小売業
	駐車料金を一部値上げ済みだが、前年同月比では約 89%の売上。前々年同月比では約 56%の売上である。商店街にて「よさこいイベント」及び「こどもっちゃ商店街」が開催され、イベント当日の来街者は増加した。新型コロナウイルス感染者の減少に伴い、飲食関係の来街者は増えているものの、日常的な増加には至っていない。貸しホールについては、大きなホール利用の申込みがなく売上減少が続いている。	各種商品小売業 周南市
	令和 3 年 1 0 月の売上は対前年同月比▲17.0%と厳しい結果。1 1 月も 11/25 時点で対前年同月比▲13.5%で推移している。令和 2 年 9 月～1 1 月は GoTo トラベル特需で前年比 20%以上と大幅に伸びたので、コロナ前の平常時に戻ったともいえる。また文化の日、勤労感謝の日が連休ではなく飛び石の祝日であったこともマイナスの要因である。当面の間は客足の鈍さが続く想定しているが、感染状況が好転してきているため、多少は回復基調に乗る事を期待したい。	各種商品小売業 萩市
	1 1 月の供給高は、対前年同月比 101.3%（対前々年比としては 105%位）。来店者数 100.2%。累計では、供給高 97.1%、来店者数 94.6%。気候や行事等の影響と思われるが、日によって供給高が大きく上下し不安定である。売れ筋も日によって変わり、発注が悩ましい時期となっている。	各種商品小売業 下関市
商店街	新型コロナウイルスの落ち着きがみられるが、各業界で明暗が分かれてきた。飲食業界は比較的好調だが、人出や来客、売上は安定せず、アルバイト人員の調整などに時間を取られる状況。小売業では、人の動きが好転したばかりで、新たな購買需要には至っていない。理美容などのサービス業は好調。このまま年末の賑わいを維持し、来客者が戻ってくることに期待を持ち営業を続けている。歳末商戦に向けたイベント活動も追	岩国市

	い風にしていきたい。	
	安心感と警戒感が入り混じった状況が見える。年末に向け人出が増えることを期待している。	宇部市
	商店街の来街者は観光客を中心に増えている。萩市の商品券については期待されたほどの来店客はなく、「大型店に流れたのでは」と店主は話す。飲食・青果店は僅かだが来店客が戻りつつあるが、他の業種は売上が伸びず厳しい状況。	萩市
	11月1日に販売した長府商店街プレミアム商品券の影響で、来客数が増加し、売上也伸びている。年末に向けて益々販促に繋げていきたい。	下関市
サービス業	新型コロナウイルスも一息ついた感があるが、11月は閑散期で例年通りに推移している。	美容業
	新型コロナウイルス感染症は減少傾向にあるが、気温の変化等で依然として自粛ムードである。	理容業
	自動車メーカーでは、コロナ禍の影響等で部品の供給が滞り、生産台数の減産を余儀なくされていることから、販売台数の落ち込みが大きく経営的にも打撃を受けている。そうした中で先週にはトヨタ自動車が、今週にはホンダが通常生産に戻すとの情報が流れ、コロナ感染者も減少しており、年末を控えコロナ前の状況に戻ることを期待している。	自動車整備業
	新型コロナウイルスが落ち着いてきたので、これからお客が戻ってきてほしいと願っている。指定感染症のレベルを下げてもらいたい。	スポーツ・健康教授業
	11月の売上也前年を上回ることが出来た。本業だけにこだわらず、そこから関連するチャンネルを持つことは重要で、常に新しいことを考え、実行し続けることが大切だと思う。同業者では、利益を出しているところと厳しいところの二極化が進んでいるように思う。周辺地域の飲食店では、客足は戻りつつあるものの、コロナ禍以前の売り上げには戻っていないとの声を聞いた。	普通洗濯業
	新型コロナウイルス感染者数も落ち着いて、少しずつお客が戻って来た。このまま終息することを切に願っている。	飲食業
	新型コロナウイルス感染者が減少し、旅行に対する要望も増えてきた。昨年はGoToトラベルがあったが、本年はそこまでの集客には至っていない。JR券売上は前年同月比90%程度。	旅行業
	前年同月比で売上82.2%、宿泊人員85.8%となったが、新型コロナウイルス感染の影響のなかった一昨年同月比では、売上86.9%、宿泊人員99.7%と、宿泊人員で	旅館業 山口市

	は、ほぼ回復の状況だが、売上は宴会やパーティーの開催が無いため苦戦をしている。	
	令和2年11月にはGoToトラベルキャンペーンが行われていた。令和3年11月も行政の補助金等があり、感染者も少ないことから、人の動きが急に活発になってきた。そのため人手不足で補充が間に合わない状況。県内客の動きはあるが、県外客は少ない。	旅館業 下関市
	入浴者数は前年同月と同数に留まり、売上高も前年並み。管理費等の経費は燃料費等の値上がりにより増加。イベント等の回復も収益の回復には至っていない。	旅館業 長門市
建設業	中電への工事申請219件(当支部168件)、前年同月240件(同204件)。太陽光発電への申請50件(前年58件)、オール電化申請65件(前年120件)。LED街路灯への切り替え・新設申請12件(前年29件)であった。	電気工事業
	令和2年より決算内容の悪化が顕著になってきている事業所が多い。しかし、公共工事発注のニュースが早めに聞こえるようになり、明るい見通しを抱けるようになった。	左官業
	組合員は、年度初めに受注の官公需の仕事で忙しかった様子。ハウスメーカーの発注は前年より多少少なかった模様。	管工事業
	コロナ禍の完全な終息が見通せない中、変異を繰り返すコロナウイルスには、慎重な対応が必要と思われるが、落ち込んだ各方面の需要回復も急務である。コロナの影響が比較的軽い公共事業が、景気の牽引役を担う事には一理ある。可能な業種がその任を果たせるよう期待しており、柳井地区の公共事業は、概ね順調な発注が行われている。各種講習会の実施では、コロナ禍の影響により人数制限を設けており、キャンセル待ちの受講希望者が多く発生しているが、土木現場におけるコンプライアンス確保には、受講が必須であるものが多いことから、講習会開催についての検討が必要である。	土木工事業 柳井市
	11月の受注高は、対前年同月比66.6%。令和3年度の累計では、対前年比82.0%。	土木工事業 萩市
	「年内は何とか工場稼働率を確保しているが、見積案件がかなり少なくなってきたり、来年度の情報も少ないため仕事の確保に苦労しそうだ。」と話す組合員が多い。鋼材、ボルト、デッキの手配難と鋼材費等の高騰により製作単価が厳しい状況が続いている。	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	新型コロナウイルスの影響で輸送量は減少しているものの、10月よりは0.5%増加している。国内向けは横ばい、輸出向けはやや上向き傾向にあるものの、依然として経営はひっ迫している。全体として対前年同	一般貨物自動車運送業 下松市

	<p>月比 0.5%のマイナスである。燃料費は 3.6 円の値上げ。月毎の値上げにより、中小輸送業の経営は益々苦境に立たされてきている。</p>	
	<p>11月に入り部品調達にも進展がみられ、自動車関連においては順調に推移した。組合の輸送取扱高は前年同月比 120%程度となり明るい兆しが見えてきた。しかしながら、新たな変異株のウイルス発生により、今後については見通せる状況にない。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
	<p>物流状況は、日用品・雑貨品のほか、製造業・化学工業関係の荷動きも相変わらず増加している。軽油の高騰が止まらず、収益状況に非常に大きな影響をもたらしており、運賃値上げの依頼をせざるを得ない状況にある。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲5.2%（令和3年10月1日～令和3年11月20日分）であった。10月1日～31日分は▲11.6%、（前年10月分は▲31.6%）、前々年度比では、それぞれ▲40.3%、▲39.6%、▲41.3%である。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。10月分については、周南▲20.7%、下松▲7.5%、光▲2.8%、防府市地区が+0.5%で、組合員の全域では▲9.1%、地区外（員外）▲27.3%、合計▲11.6%（▲1,616千円）となった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが上昇し（前月730.0\$/トンが今月812.5\$/トン、前年410.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油も上がり（前月610.0\$/トンが今月705.0\$/トン、前年340.0\$/トン）。為替も円安（前月111.17円/\$が114.11円/\$）。燃料単価は+8.1%上昇、前年11月比+45.3%となり、収入が増加しない中たいへん厳しい状況。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。10月からは、コロナ感染者の減少と連動して、前年比で需要が回復しつつあるように思う。朝の、出勤や通院時間帯など、配車が遅れる時もあるようで、乗務員不足で稼働できずにいる模様。このままコロナが収まり、利用客が以前のように戻ることを、繁忙期となる年末を前に大いに期待しているが、第6波の発生、乗務員の不足、燃料費の高騰などが危惧される。</p>	<p>一般乗用旅客自動車運送業</p>
	<p>取扱貨物量は、徐々にではあるが、令和元年並みの水準まで増加しつつある。</p>	<p>港湾運送業 下関市</p>
	<p>令和2年11月の取扱高が特に多い月であったため、令和3年11月の取扱高は対前年同月比では減少となった。今後は、燃料をはじめ原材料の高騰が気に掛かるところである。</p>	<p>港湾運送業 山陽小野田市</p>

その他	<p>コロナ感染者の減少により、留学生だけでなく外国人技能実習生の入国も可能となり、組合は勿論、事業所の期待も大きく膨らみ、受け入れの準備に取り掛かった。しかし、コロナウイルスの新種株によりこの期待も絶たれ、先行きがわからなくなった。事業所からの問い合わせも多く、キャンセルを視野に入れている不安な状況に逆戻りした。各事業所には送り出し機関との連絡は密に行っていること、状況が入り次第報告をすることなど組合の取組みについて文書にて連絡した。組合と事業所との信頼関係を保つことに取り組んでいる現状である。</p>	介護事業
-----	---	------